



LINE



Twitter

【第7次総合計画策定】

高校生・専門学生・大学生が思い描くまちの未来は？

■問合せ…企画政策課 (☎025-520-5625)

未来の上越市を担う市内在学の高校生・専門学生・大学生からこれからのまちづくりについて考えてもらうため、8月7日㊿、春日謙信交流館でワークショップを開催しました。参加者は6つのグループに分かれて未来に向けた取り組みなどを話し合い、その結果を市長に提案しました。

●今の上越市ってどんなまち？

- ・地域の大人のネットワークがある
- ・昔ながらの文化が大切に受け継がれている
- ・多くの市民が共感し共有できる、「上越市といえばこれ」というものがない
- ・若者の居場所や遊べる場が少ない
- ・公共施設に自習できるスペースが少ない
- ・働きたいと思う企業が少ない

●10年後、20年後はどんなまちに？

(良い方向に進むと…)

- ・魅力が多くの人に伝わり、多くの観光客でにぎわうまちになる
- ・カフェやビジネスホテルなどの用途で、空き家の活用が進んでいる
- ・自然を生かした事業が盛んに行われ、人の行き来が多くなる
- ・企業誘致を進めることで、雇用の場が増える

(この先何もしないと…)

- ・まちの中心部にしか子どもがいなくなる
- ・伝統を継ぐ人がいなくなる
- ・農業などが縮小する
- ・孤立世帯が増え、災害時などに助け合うことが難しくなる



計画案の市民説明会を開催

総合計画審議会での検討状況や、市民意見交換会で寄せられた意見などを反映した計画案について、ご説明します。申し込み不要で、どなたでも参加いただけます。

▶とき…10月5日㊿午後6時30分～8時 ▶ところ…上越文化会館中ホール

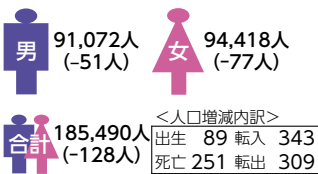
広報対話課から

(☎025-526-5111)

●「広報上越11月号」は、10月20日㊿・21日㊿に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

上越市の人口・世帯数

令和4.9.1現在。()は前月との比較



表紙のことは：頼りになります、近所のお店

皆さんは困ったときに相談できる「かかりつけのお店」がありますか。「身近なお店」は、物理的な距離はもちろん、顔が見える関係として心の距離も「身近」で安心です。「壊れたかな」と思ったら、まず「身近なお店」へ。そして利用後は、ぜひ「ねぎらいの一言」を。そのちょっとした行動や一言が、巡り巡ってまちの元気につながるはずです。

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。